

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成25年度第4回大滝区地域協議会		
議 題	報告第1号 大滝ケーブルテレビ施設設備の変更について 報告第2号 伊達市簡易水道条例の改正について 報告第3号 伊達市下水道条例の改正について 報告第4号 上下水道料金統一の検討について		
開催日時	平成26年1月31日（金） 午後3時30分～午後4時20分		
場 所	伊達市役所 大滝総合支所 2階大会議室		
出席者	出席者9名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公 開 非 公 開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>1. 開 会 地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告。</p> <p>2. 会長あいさつ 今日、報告4件であります。各担当の方から説明を伺い、進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>3. 署名人の選任 審議に先立ち、会議録署名人に中川委員、石野委員を指名</p> <p>4. 協議 ・報告第1号 大滝ケーブルテレビ施設設備の変更について 担当者より説明（別紙のとおり）</p> <p>○質疑応答 委員全員： <質疑なし></p> <p>・報告第2号 伊達市簡易水道条例の改正について 報告第3号 伊達市下水道条例の改正について 担当者より説明（別紙のとおり）</p>			

○質疑応答

委員全員： <質疑なし>

- ・報告第4号 上下水道料金統一の検討について
担当者より説明（別紙のとおり）

○質疑応答

委員： 上下水道料金は合併協定書で統一されることになっているが、この資料を見ると、1億円ぐらい足りないと思うが、完全に料金が統一化されたとしたら、どのくらいになるのか。

水道部長： 基本的には、上下水道は公営企業と言いまして、お客様から頂いた料金の収入をもって経営を行うということになっていますが、現実的にはそれをやってしまうととんでもない料金になります。そのために繰入などというかたちをとるが、現段階での考えは、その赤字や繰り入れを簡易水道や下水道の料金の値上げで補おうという考えはない。

委員： 人口も減って民家が少なくなると、収入が減っていくが、スケジュール通り進めていくと、同じ料金になった場合、現在とどのくらい違うのか。

水道部長： 伊達と大滝がどうしたら均衡がとれるのか、それらも含め平成26年度に1年かけて検討していこうと考えている。結論ありきではなくて、どうしたら一番いいのかということも含めて検討していく。今回はあくまでもこういう条件の違いがあるから、合併協定書の中にも入っている中で、統一に向けて検討していこうというのが現段階の考えである。

委員： このスケジュールで進んでいかざるを得ないのかなと思うんですが、上下水道だけではなくて、伊達市街地と大滝区はいろんな意味でそれぞれ個性があり、単に統一するというのではないと思う。合併以降、良くなったところは皆さん何も言わないが、悪くなったところはいろんな方がいろいろ言っている中で、せっかく伊達市と合併したのに、結局大滝区は住みづらくなって、どんどん人が少なくなっているのは事実だと思う。今後、どんどん大滝のデメリットが強調されていくとますます人がいなくなってしまう。それで本当にそれでいいのかということも含め、しっかり考えて、行政の方だけではなくて地域の方もみんなで考えていかなくてはいけないのかと思います。

委員： インフラ整備は大事だと思うが、人がいないとインフラも何もないと思う。個別に上下水道ではなくて、大滝をどうしようと思ってくれているのか。人が住まないと水も使わないし、その辺が一番ネックになっている。何を話しても大滝をどうしようと思っているのか、私たちはこうしてほしいということはいっぱいあります。それと、自分たちで何かできることがあったらやろうという意気込みもあります。行政から何か支援をしてもらうのはなかなか予算的なこととかあるので、できるだけそういうものがかからないようなことをやりたいと思っていた時に、このような話があったので、私自身みんなに声がかけづらいところがあります。また、私は花作りがしたくて大滝に土地を買いました。家で使う家事の水の量はしれてますが、庭にまく水は料金がかかっています。住んでいるとどうしても水を使わなければならないので、人の住める地域をみんなで力を合わせて大滝の地域づくりをするためになんとかならないかと思っています。金額だけでなく、根本的に考えていただいて、それから料金設定をきちんとしていただければ幸いです。

事務局： 数字だけですべてを判断していることではありません。大滝と伊達が合併してやや10年になろうとしています。いくつか整合が取れていないところがあります。国民健康保険税の税率は完全に一致させたが、水道料金や保育料はまだ一定のひらきがあります。少子化対策であったり定住対策であったりという観点で、まだ担当の方からは料金を統一するという話は聞いていません。それぞれの施策ごとに、どのように進めていくか、何が何でも合併したから全部を横並びにするという感覚では物事を考えていないと思います。確かに伊達と大滝は地理的にも違いがあり、それぞれ良さもあり、欠点もありますが、行政側もその辺をきちんと認識しながら進めていきたいと考えております。

○閉会